

質問1～4への回答

(奈良県保険医協会・作成/2017.6.30.)

設 問		氏 名 (敬称略)			
		あさひろ よしこ 朝広 佳子 (無所属)	いのうえ よしこ 井上 良子 (日本共産党)	なかがわ 仲川 げん (無所属)	やました 山下 まこと (無所属)
【1】子どもの医療費助成などの福祉医療制度について					
質問 1	子どもの医療費助成などの福祉医療制度は現在、医療機関の窓口で、助成分を含めて一旦支払いをしたうえで後日に所定の口座へ助成金が振り込まれる「償還払い」です。使い勝手をよくするためには助成分はそもそも支払いを不要とすべき（＝現物給付とすべき）と考えますが、いかがですか。	その他	賛成	賛成	賛成
質問 2	医療費助成には一部負担があります。1医療機関につき月500円（通院と2週間未満の入院の場合。それより長い入院では1000円）の負担です。一部負担はなくすべきと考えますが、いかがですか。	反対	賛成	反対	反対
質問 3	現在、子どもの医療費助成の対象は中学生までです。他の自治体では高校生までを対象としているところもあります。受診しやすい環境を整えることでの重症化予防と子育て支援の観点から、高校生までの対象拡大が望ましいと考えますが、いかがですか。	賛成	賛成	その他	その他
【2】国民健康保険について					
質問 4	国民健康保険は、我が国のすぐれた「国民皆保険制度」を支える重要な社会保障制度の一環です。しかし、近年、保険原理が強められ、過酷な保険料負担が強いられています。一つの地方自治体だけで解決できない課題ですが、住民の健康を守るために、制度の趣旨に立ち返り、重い保険料負担をできる限り軽減する努力も必要と考えます。法改定により広域化が決まっており、自由度は狭まるでしょうが、各市町村の努力で、重すぎる保険料負担の軽減に尽力することが切に望まれると考えますが、いかがですか。	賛成	賛成	賛成	賛成

※氏名50音順で掲載しました。

※アンケートは、2017年6月19日に送付し、6月30日正午を期限として回答をお願いしました。

※朝広氏のみ期限後の6月30日14時すぎに回答がありましたので、当初は回答がなかった旨を表示していましたが、修正しました。

※このほかに自由記述による回答もお願いしました。記述回答は別途掲載します。